



コロから車輪へ――

パラダイムシフトを促す出版社「ころから」が誕生しました！

ころからは、2013年1月11日創業の新しい出版社です。
ころからは、東京のはしっこ北区赤羽にあります。
ころからは、一冊ずつ丁寧に、売りたい本をつくります。
ころからは、大量配本システムに頼らない経営をします。

どうぞ、これからの「ころから」を応援してください。

『文化通信』（2月11日号）で、「ころから」と
「今月でた本 来月でる本」共同DMが紹介されました。

注文出荷制出版社が共同DM
トランスビュー 流通・取引インフラにも

注文出荷制や書店との直接取引を行っている小規模出版社が、書店に刊行情報を届けて共同受注する販促活動始めた。

また、この中で今年1月に創業し、3月から書店直取引で書籍の刊行を開始する「ころから」は、在庫管理、出荷、請求、入金管理などをトランスビューに業務委託するなど、小規模出版社の流通・取引インフラとしての役割も發揮している。

共同販促・受注に参加している出版社は、トランスビューへのほかには、音楽書籍中心のアルテス・パブリッシング、楽譜製作などを手がけるスタイルノート、滋賀県のサンライズ出版、トランスビューのレベルであるバナナブックス、料理関連書を発行しているベターホーム協会、各社の新刊情報、注文データを各書店に入れたDM「注文」を担当する。

現在の送付書店数は約1000店。トランスビューの取引先を中心に、各社の受注状況に合わせて選定しているため、中小書店や古本を中心としている書店なども入っている。

この狙いについて工藤氏は、「委託本とは別、現物に近い情報が流れるルートをつくりたかった」と話。

1月末からDMが書店に到着しているが、「フエイスブックで公開したら書店など70人くらいから反応があり、書店の仕入意欲が伸びてきた」という。

一方、ころからは月第三

書館の木瀬貴吉氏が創業したが、「書店から1冊ずつ注文をもらうと、長期間販売してもらいたい」という思いから直取引の注文出荷制を選択した。編集から営業までは自ら行い、在庫管理、出荷、請求、入金管理などの業務をトランスビューが代行する。

3月に2点を刊行し、当面2〜3カ月で1点のペースで刊行していくという。書店との取引条件は、トランスビューと同様に卸正味68〜70%。返品は書店が送料負担。返品は書店が送料負担。

この業務委託について工藤氏は、「取引システムは有効だが、そのシステムに簡単に乗れないとき、もう一つのやり方を考えることで新規参入を促したい」と述べており、「新規参入や小規模出版社の流通インフラとしての役割を發揮していく考えた」。

ころからの月に刊行する書籍のなかには、『サウジアラビアとマラシヤアラブ』、『I LOVE TRAIN』、『アジア・レイル・ライフ』




ころから

代表：木瀬貴吉(きせ・たかよし)

〒115-0045 東京都北区赤羽 1-19-7-603

TEL▶03-5939-7950

FAX▶03-5939-7951

mail▶office@korocolor.com

HP▶http://korocolor.com/

Twitter▶@korocolor

Facebook▶ころから